

## 8月19日：銘柄によって明暗が分かれたが、ベトナム株はわずかに上昇

ベトナム株は引けにかけて上昇したが、小幅な上昇にとどまった。大型株の中でもパフォーマンスに明暗が分かっていた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.11%上昇し981.03ポイントで取引を終えた。

同指数は0.58%上昇し980ポイントで先週の取引を終えていた。

ハノイ取引所のHNX指数は0.23%上昇し102.58ポイントで取引を終えた。

先週金曜日は0.43%下落して102.35ポイントで取引を終えていた。

流動性は中水準、両取引所合わせて1億7900万株が取引され、売買代金にして6.4兆ドン（2億7400万ドル）ほどであった。

後場にかけて、銘柄によってばらつきのある動きになった。

モバイルワールドインベストメント（MWG）、FPTコーポレーション（FPT）、ビコストーン（VCS）、リー冷蔵電気工業（REE）などは資金を呼び込み相場を支えた。

バオベトホールディングス（BVH）、ペトロベトナムガス（GAS）、マッサングループ（MSN）、ビナミルク（VNM）、サイゴンビールアルコール飲料総公社（SAB）、ペトロリメックス（PLX）、PVパワー（POW）、ビンホームズ（VHM）、ビンコムリテール（VRE）などは上昇し、指数を支えた。

ダットサイングループ（DXG）、バリアブンタウ不動産開発（HDC）、HDバンク（HDB）、ダナン住宅開発投資（NDN）、ファットダット不動産開発（PDR）、トゥドック住宅開発（TDH）、ナムロンインベストメント（NLG）なども大きく上昇した。

ペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）、ペトロベトナムトランスポーターション（PVT）、ペトロベトナム機械組立・鉄鋼構造物（PXS）、ペトロベトナムドリリング（PVD）、ペトロベトナム建設（PVC）などの石油ガスセクターの銘柄は下落した。

ベトナム株を牽引したセクターは、保険、IT、不動産、証券、食料品、建設資材、小売りなどであった。

それらのセクターは 0.06-0.51%ほど上昇した。

VN30 指数は 0.07%下落し 891.87 ポイントで取引を終えた。

外国人投資家はホーチミン取引所で 8811 億ドンの買い越しで、ビンググループ (VIC)、ビナミルク (VNM)、マッサングループ (MSN) などに買いが集中した。

政治・経済の世界的な不透明感からベトナム株式も不安定な状況になっているとペトロベトナム証券の Le Duc Khanh 氏は語った。

一番の注目点は米国経済で、もしも悪い場合にはベトナム経済にどのような影響があるかである。

この懸念が市場心理を悪化させ、結果として投資家によってばらばらの動きを生み出していると同氏は語った。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。